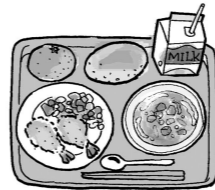


イトーヨーカ堂の撤退が決定的 まちづくりの計画について立ち止まって再検討を



学校給食の食器の入れ替え

小学校の学校給食で使っているおかず皿が壊れてきたので、全部入れ替えることになりました。当然のことですが、それだけではないことがわかりました。

そもそもこの食器、すでに耐用年数は切れていきます。もう少し使えそうだと判断して、交換を先延ばししたけれど、学校から「壊れてきたので取り換えてほしい」との声が上がって、急きよ、補正予算を組みました。子どもの食事にかかわること。しっかりと耐用年数に合わせて取り換えるべきと叱責しました。市も、今回のことを教訓に取り組みと反省を述べました。

食器の材質も変わり、これまでより長期間使えて、模様も施せるなどの利点もあるようです。村上議員は、その点を一つ一つ確認しながら、「合成

イトーヨーカ堂の閉店が決まりました。新橋大通はヨーカ堂を核とした商店街。その撤退ですから大変な影響です。新橋地区は立地適正化計画の都市機能の拠点の一つに位置づけられ、公共交通網形成計画では、バスの乗り換え拠点に位置付けられています。ヨーカ堂の3階には、市の子育て支援センターも入居しています。

ヨーカ堂が無くなる新橋大通の今後を見通すことはできません。村上議員は、「少なくともヨーカ堂の後継店舗が決まるとか、今後の推移がはっきりするまで、新橋大通を拠点とする計画についてはいったん凍結すべき」と質問しました。

市は、これからもこうした事態は予想されること。だからこそ、計画をしっかりとつくっていくと答弁、本音は政府に来年3月までに計画を届けなければならないので、立ち止まれないということのようですが……。

樹脂の食器は丈夫で安価です。しかし、陶磁器と木製の食器で食事をとるのが日本の伝統。学校給食でもそのことは大切にすべき。将来の検討として、陶磁器の食器に切り替えることも検討すべき」と提案しました。



村上かずしげ通信 18年 12月30日
発行 日本共産党釧路市議団 Tel.23-5212



村上かずしげ

市営牧場の問題も告発

市営牧場は、牛を預かり太事に見合った待遇が確保されらせて、妊娠させてお乳を搾っていないことや、服務上の問題もあることがわかりました。「非正規職員にまかせっます。しかし、実際に市営牧場の運営に当たっている臨時職員が相次いで退職していきまよ」と求めました。

このままでは、牧場として成り立たなくなる心配があります。



村上議員が調査すると、仕